

**CS+用 RL78コード生成 (CS+ for CC)
CS+用 RL78コード生成 (CS+ for CA, CX)
e2 studio (Code Generator プラグイン)
RL78コード生成支援ツール AP4
ご使用上のお願い**

CS+用 RL78コード生成 (CS+ for CC)、CS+用 RL78コード生成 (CS+ for CA, CX)、 e2 studio (Code Generator プラグイン) および RL78コード生成支援ツール AP4の 使用上の注意事項を連絡します。

- シリアル・アレイ・ユニットのUART通信時の注意事項
対象: RL78/I1Bグループ

1. 該当製品

- CS+用 RL78コード生成 (CS+ for CC) V2.07.00以降
- CS+用 RL78コード生成 (CS+ for CA, CX) V2.03.00以降
- e2 studio V3.0以降 (Code Generator プラグイン V1.0.1以降)
- RL78コード生成支援ツール AP4 V1.06.00 以降

2. 該当マイコン

RL78/I1Bグループ

3. 内容

シリアル・アレイ・ユニットのユニット0 または ユニット1において、
UART受信機能 または 送受信機能に設定した場合、生成コードに誤りがあります。

4. 回避策

r_cg_sau_user.cにある以下の関数の出力コードを下記に従い修正してください。

関数 `__interrupt static void r_uart0_interrupt_receive(void)`

なお、コード生成後は常に修正が必要です。

修正前: ユニット0の場合

```
-----  
__interrupt static void r_uart0_interrupt_receive(void)  
{  
.....  
  
    if (g_uart0_rx_length > g_uart0_rx_count)  
    {  
        *(uint16_t *)gp_uart0_rx_address = rx_data; /* <- faulty code */  
  
        gp_uart0_rx_address++;  
        g_uart0_rx_count++;  
  
        .....  
    }  
-----
```

修正後: ユニット0の場合

```
-----  
void R_CGC_Create(void)  
{  
    __interrupt static void r_uart0_interrupt_receive(void)  
    {  
        .....  
  
        if (g_uart0_rx_length > g_uart0_rx_count)  
        {  
            *gp_uart0_rx_address = rx_data; /* <- correct code */  
            gp_uart0_rx_address++;  
            g_uart0_rx_count++;  
  
            .....  
        }  
-----
```

5. 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.